

いずものくに
出雲國たたら風土記

鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介しています。

■たたら絵巻「玉鋼縁起」
(安来市・和鋼博物館)

安来市出身の画家・松本春々が昭和21年に制作した、幅30cm、長さ55mに及ぶたたらの一大会巻です。たたらの絵巻は全国に数例しか見られず、大変貴重な資料です。

神話や伝承の中の鉄文化から、たたらの歴史、作業風景や設備・道具、そして伝統を受け継ぎ近



▲玉鋼縁起

代に特殊鋼の生産拠点に成長する過程までもが、繊細な筆使いで表現されています。
和鋼博物館では、レプリカによる常設展示をお楽しみいただけます。

関連情報は
こちら

出雲國たたら
風土記インスタ
グラム

鉄の道文化圏
ホームページ



問い合わせ

観光振興課

☎ 23-3110

＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ
人権を
考える 79

『いじめ』をなくすために
～子どもの健全育成は、
私たち大人の役割です！～

令和5年安来市人権に関する市民意識調査

問 子どもの人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか？（複数回答）

▶「仲間はずれやインターネット上の差別発言によるいやがらせなど、いじめがあること」が一番多く、回答率は68.3%でした。

『いじめ』は、いじめの子の自尊感情や自己肯定感の低さからくる欲求不満が要因の一つとされています。また、『いじめ』を周囲で見ている子がただの「傍観者」となってしまう、人に寄り添う思いやりの心が育ちにくくなることも問題視されています。

本来、子どもの自尊感情や思いやりの心を育むのは、私たち大人の役割です。家庭、学校、

地域、社会全体が一つになって、子どもたちの健全な精神を養い、『人権侵害』である『いじめ』は決して許されないと教え導くことが必要です。『いじめ』は、子どもだけの問題ではないのです。

まずは家庭などの身近な場で、ふれあいや会話が減っていないか、子どもの小さな変化やサインを見逃していないか、振り返ってみてください。そして、安来の未来の宝である子どもたちが、自分も相手も大切にできる存在に成長するよう、地域みんなですべての意識をもちましょう。



◆2月の「特設人権相談所」

開設日時 2月4日(水)9時30分～12時
場所 伯太中央交流センター 研修室

開設日時 2月17日(火)9時30分～12時
場所 赤江交流センター 保育室

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3095

